

# 速報 5月号 NO.379

編集・発行 一般社団法人広島県臨床検査技師会  
事務所 FAX 082-502-6031  
発行日 平成30(2018)年4月27日

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人 広島県臨床検査技師会



ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

(モバイルサイト <http://mw.hiroringi.or.jp/>)



## CONTENTS

ページ 項目

### レポート<<Report>>

- 2 平成30年度 第1回理事会 報告
- 8 第37回臨床検査精度管理向上研修会  
第20回検査部長・技師長連絡会議 報告

### ご案内・お知らせ<<Information>>

- 8 平成30年度定期総会のご案内
- 10 薬剤耐性菌に関するアンケート調査のお願い

平成30年度 定期総会は平成30年6月9日(土)  
会場：ホテルニューヒロデン



速報・行事予定表(印刷物)は平成30年3月をもって廃止となりました

速報と行事予定表は広臨技ホームページよりダウンロードできます。広臨技MLコミュに加入して、お知らせや研修会の案内を入手しよう。

QRコードで簡単登録できます



日	内容	日	内容
1 水	新年度総会	15 水	第37回総会
2 木	第1回理事会	16 木	第37回総会
3 金	第1回理事会	17 金	第37回総会
4 土	第1回理事会	18 土	第37回総会
5 日	第1回理事会	19 日	第37回総会
6 月	第1回理事会	20 月	第37回総会
7 火	第1回理事会	21 火	第37回総会
8 水	第1回理事会	22 水	第37回総会
9 木	第1回理事会	23 木	第37回総会
10 金	第1回理事会	24 金	第37回総会
11 土	第1回理事会	25 土	第37回総会
12 日	第1回理事会	26 日	第37回総会
13 月	第1回理事会	27 月	第37回総会
14 火	第1回理事会	28 火	第37回総会

平成30年4月号から印刷物廃止となりました。Webサイトから速報・行事予定表がダウンロードできます。

H30(2018) 速報2月号 NO.376

Hiroshima Association of Medical Technologists  
一般社団法人 広島県臨床検査技師会

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>  
(モバイルサイト <http://mw.hiroringi.or.jp/>)

CONTENTS

レポート<<Report>>  
ご案内・お知らせ<<Information>>  
検査部長・技師長連絡会議(最終)  
総会・講習会<<Study>>・案内

平成30年度 会費納入についてお知らせ  
会費は、ご集約の口座から平成30年2月27日(火)に年会費17,000円(日臨技7,000円)が引き落とされます。  
2月27日(火)までは1月31日までに通帳半額を終了しましたら口座振替はされませんので詳しくは、2018年1月号のJMTMagazineでご確認ください。

速報・行事予定表(印刷物)は平成30年3月をもって廃止となりました  
速報と行事予定表は広臨技ホームページよりダウンロードできます。広臨技MLコミュに加入して、お知らせや研修会の案内を入手しよう。  
QRコードで簡単登録できます

「速報! 広臨技 ~いろいろな情報載ります~」のお知らせ  
広島県臨床検査技師会に先立って「速報! 広臨技 ~いろいろな情報載ります~」を掲載いたします。  
■日時 平成30年3月3日(土) 19:30~14:30 (受付:13:00~) 生涯教育基礎校 20点  
■場所 くれぽる(県庁内)

委員会 総務調査部長 奥上 佐美  
1. 「検体採取等に関する厚生労働省検定講習会の受講状況と今後の予定」 会長 水野 謙士  
2. 「平成29年度より始まる研修会について  
~認知症領域における対応力向上講習会、初級・中級関係講習会~」 副会長 森田 隆子  
3. 「広臨技役員への向副委員長に向けた基礎調査アンケートの集計報告」 広臨技長 有馬 俊一

# 平成30年度 第1回理事会報告

平成30年度第1回理事会が4月12日（土）に開催されましたので報告します。

## <報告事項>

### 【会長から報告】

- 3月14日 平成29年度中四国支部学会支部学術奨励賞決定の報告あり。
  - 生理部門 濱岡敏基 さん（山口県立総合医療センター）
  - 微生物部門 杉山知美 さん（山口宇部医療センター）
  - 病理部門 安村奈緒子 さん（呉医療センター）
- 4月3日 日臨技より平成29年度各種表彰候補者選考結果の報告あり。
  - 会長賞 長迫哲郎 さん（福岡県）
  - 最優秀論文賞 中越りつこ さん（信州大学医学部付属病院）
  - 優秀論文賞 野木岐実子 さん（帝京大学医学部付属病院）
  - 優秀論文賞 前田岳宏 さん（近畿大学医学部付属病院）
  - 優秀論文賞 兵頭直樹 さん（愛媛県立新居浜病院）
  - 最優秀演題賞 吉永治代 さん（近畿大学医学部付属病院 SRL 検査室）
  - 優秀演題賞 石川さより さん（NTT 東日本関東病院）
  - 優秀演題賞 田中規仁 さん（労働者健康安全機構 和歌山労災病院）
  - 優秀演題賞 高橋大樹 さん（千葉大学医学部付属病院）
  - 優秀演題賞 比嘉莉華子 さん（沖縄県立中部病院）
  - 優秀演題賞 国井アツ子 さん（山形市立病院 済生館）
  - 優秀演題賞 永田則子 さん（(財)神奈川県警友会 けいゆう病院）
  - 特別奨励賞 佐伯勇輔 さん（西条中央病院）
  - 特別奨励賞 丹野大樹 さん（福島県立医科大学付属病院）
  - 日韓交流功労者推薦 米坂知昭 さん、揚 萬吉(ヤン・マンギル)さん

- 日臨技より検体採取等講習会の受講促進の依頼あり。

今後受講回数の減少に伴い、早めに受講して頂くよう施設内に周知させてください。

- 4月5日 一般検査部門長より、研修会開催にあたり企業コマースタイムの募集希望あり。→ 承諾  
ただし、講師料（技師）が20,000円となっていたので確認をお願いした。
- 4月6日 広島県医療情報技師会より研修会の後援依頼あり。→ 承諾
- 4月11日 日臨技より下記の案内あり。
  - \*生涯教育研修会支援事業 20研修会（最大5万円/1研修会）助成あり。

\*都道府県技師会ニューリーダー育成研修会（役員派遣分）助成あり。

\*検査と健康展 一律50万円 助成あり。

\*精度管理結果サポート事業（「C・D」評価施設への事業支援）

\*地域ニューリーダー実践講習会（4年間の講習会出席者から1名を推薦）

→ 広臨技は中宮理事を推薦。本人承諾。

\*職能向上のための臨床検査技師育成講習会（3年で県会員の1割以上受講）

定額20万円+参加者1名あたり1,000円 助成あり。

\*初級・職能開発講習会→広臨技としても継続して開催する。

\*日臨技総会委任状回収委託費(66.7%以上:70円、50~66.7%で50円)

→ 広臨技としては66.7%以上を目指す。

- 広島県薬務課より、「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の一部改正について案内あり。→ 各施設にも案内がいきます。
- リレーフォーライフジャパン広島実行委員会より、「リレーフォーライフジャパン2018広島(尾道)」への後援依頼あり → 承諾

#### 【事務局から報告】

- 日本医学検査学会のポスター30枚届いている。各自1枚ずつ持ち帰りください。
- 平成30年度広島県会員入会の案内を発送。昨年度は4名、今年度は3名。
- 4月19日開催の第2回役員推薦委員会の案内を発送。
- 4月4日 「平成30年度賛助会員期間満了のお知らせと継続入会のご案内」を発送。
- 病理研修会の講師依頼を受けた非会員の大和光機工業より問い合わせあり。規定に則り賛助会員になっていただくよう申込書類を発送した。
- 4月5日 広臨技MLコミュ未登録55施設に「メーリングリスト広臨技MLコミュ登録について」を発送。未登録施設への個別対応は一応これで終了となります。
- 4月9日に事務所会計ソフト「JDLIBEX会計ネット」を更新。17,760円/年
- 3月末に行事予定表PDF版を速報と共にWebサイトへアップして頂いた。
- 広臨技HPが大きく変わっているが、HP作成委員がファイル整理等、大幅な見直しを行ったと情報システム委員長から事後報告を受けた。
- 賛助会員の社名変更の届出あり。 和光純薬(株) → フジフィルム和光純薬(株)
- 4月14日開催のグレースピルの管理組合総会に出席予定。
- 4月26日に定期総会の資料、委任状、書面表決、中四国学会案内冊子を発送します。

#### 【学術から報告】

- 4月6日に学術部会を開催した。平成30・31年度の学術部門員の応募用紙を整理した結果、各部門6~9名の応募があったが総合管理部門が2名の応募しかなく現在検討中です。4月27日までに新部門員の名簿作成を依頼しています。その時に血液部門が行った2回のアンケート結果をHPに掲載したいとの提案が血液部門長からあった。
- 日臨技支援事業の助成金申請について、日臨技から広島県の利用状況が50%以下との報告があった。昨年は参加人数の多い研修での申請や均等分布のため各部門2回まで等のアナウンスをしていたが、今年度はそこを改善し有効利用するよう会議で伝えた。
- 学術誌について3月26日に会議を開いたが参加者が少なかった為、4月26日に再度会議を開き、年間スケジュールの確認と筆者や解説者の選定にあたらうと思います。

#### 【経理から報告】

- 3月27日 日臨技より平成30年度の会費1659名分11,613,000円を受け取りました。
- 3月30日 日臨技より初級・職能開発講習会の立替金として11,920円を受け取りました。4月7日に公認会計士より決算の説明を受け、4月10日に監査を通過しています。
- 平成30年度の活動資金を学術部門、各地区に振り込んだので確認をお願いします。

#### 【渉外法規から報告】

- 広島県より「がん検診へ行こうよ推進会議」から平成29年度の啓発活動の実績と平成30年度の活動計画の提出を求められたので書類を提出しました。  
実績：ピンクリボン de カーブ、広島県民フォーラム  
活動計画：ピンクリボン de カーブ

- 5月13日 ピンクリボン de カーブ（マツダスタジアム）開催予定。  
ボランティアは8名で乳がんのパネルを使い来場者に説明する予定です。
- レッドリボンキャンペーンの会議が4月下旬に広島であります。大塚副部長と中島部長が参加予定。

【組織調査から報告】

- 平成30年度新入会員オリエンテーション（東部地区以外）の開催が8月11日（土）に決定しました。

【広報からの報告】

- 3月26日 速報4月号と4月の行予定表をHP担当者へ提出し4月1日にアップされました。

速報5月号は4月9日に締め切られたが、原稿は精度管理報告会しか集まっていません。広報委員が任期を迎え各委員に意思表示をしてもらい新年度に向け広報委員の新メンバーが揃いました。

【地区報告】

<広島地区>

- 4月30日 広島・西部地区レクリエーション（カーブ観戦）を予定しています。  
参加人数 152名

<呉地区>

- 3月の県学会が無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

<東部地区>

事業報告

開催日	事業名	参加人数
2018/03/10	東部地区生理検査研修会（日臨技精度管理報告会）	25名

活動報告

開催日	事業名
2018/03/20	東部地区学術部門長会議（H30年度研修会について）

事業計画

開催予定日	事業名
2018/05/24	第1回生涯教育講座（東部地区）

- 4月24日に東部地区第1回役員会を開催します。

<東広島地区>

活動報告

開催日	事業名
2017/03/09	東広島地区運営会議（前年度活動）

<北部地区>

事業計画

開催予定日	事業名
2018/6/2	北部地区研修会
2018/9/29	北部地区研修会

2018/12/1	北部地区研修会
2018/12/1	北部地区意見交換会

## <討議事項>

### 【会長】

- 広島大学病院 木場由美子技師より、第30回日本臨床微生物学会総会・学術集会の地域対抗企画において、中国地区に対する後援の依頼があった。

(会長) 技師会が学会を後援することは通常あるが地区活動の後援となると意味合いが違ってくる。常務理事会の中では、木場さんの意図は各県の技師に参加を募る手段として技師会のMLを使いたいとのことなので、後援は出来ないがMLへの掲載を承諾することで承認したらどうかという話になっている。内容もアンケートをすることや学会に多くの一般演題を出してほしいといったことなので、MLへの掲載を承諾することで承認しようと思えますがよろしいですか？

→ 承認

- 表彰審査委員会より、平成29年度各表彰候補者の推薦(答申)がありました。

永年職務精励者表彰対象者25名のうち、在職期間等の確認の必要な方1名を除いた24名につき討議していただきたい。

→ 承認

### 【事務局】

- 総会資料の案をみなさんにお送りしています。

修正すべき点を修正していますが、単語の統一について2点あります。

\*ホームページとウェブサイトはwebサイトに統一する。→ 承認

\*ネットとインターネットはインターネットに統一する。→ 承認

(補足) レクリエーションの単語はレクリエーションと表記する。

### 【学術】

- 6月16日開催の一般検査の研修会と6月26日開催の生化学の研修会の案内を、他県方にも来ていただきたいので日臨技のシステムを使って案内をしてもいいですか？  
→ 支部単位の研修会では日臨技のシステムは使えるが、県単独では使えないので各県に案内状を出し各県に周知してもらおう。

### 【経理】

- 昨年同様に事務所の細川さんに慰労の気持ちで5万円の商品券を贈りたい。  
→ 承認

### 【渉外法規】

- 広島県エイズ日曜検査及び広島県エイズ相談事業について

今年度のエイズ日曜検査は6月及び12月は第1・第3日曜日、それ以外の月は第3日曜日に決定しました。検査実施者は医師1名、看護師2名、事務1名ですが、今年度より事務1名のところを検査技師が引き継ぎます。

エイズ相談事業は毎週日曜日の9時から16時までで、昨年同様エイズダイヤルさんをお願いしています。電話は現在大手町の事業所内にありますが、今後は技師会事務所に移転するため現在準備中です。電話番号が変わりますが県は了解済みです。

費用はエイズ検査の委託料が646,000円、エイズ相談事業が1,716,000円です。広島県からの委託料の振り込みが9月・12月となるため9月までに係る費用は技師会から借り受けたいと思います。

→ 承認

### 【組織調査】

- 討議事項なし

## 【広報】

### ● 交通費について

現在役員の交通費の支給は地区をまたぐ場合に計上していたが、東部や北部の場合範囲が広く地区内でも支給したほうが良いのでは？という提案です。

(会長) この交通費に関しては、学術部門員・各地区の地区委員も含め経理部で検討した後また皆さんに提案したいと思います。

## 【広島地区】

### ● 討議事項なし

## 【呉地区】

### ● 討議事項なし

## 【東部地区】

### ● 討議事項なし

## 【東広島地区】

### ● 県学会の進捗状況について

日程の候補日は2月23-24日もしくは3月2-3日です。前回会場確保が困難との話でしたが、現在会場の第一候補がグランラッセ東広島です。ここなら懇親会場の問題もクリア出来ます。会場費が2日間で56,700円ですがこの施設で進めてもよろしいですか？

→ 承認

## 【北部地区】

### ● 討議事項なし

## 【その他】

### ● 県学会の収支について (奥田理事)

県学会の収支をメールで流したのですが、内容はこれでよろしいでしょうか？

→ 承認

(会長) 収支の内容自体は問題ないが、今回常務理事が内容を確認してないまま県に報告がされていたので、県に報告する前にまず常務理事会に報告していただきたい。

### ● 情報システムについて (飯伏副会長)

(Webサイト委員会より) 現在下記の2社で検討しています。

### \*村上健司 (個人経営)

### \*アサクラソフト (リコーと提携)

我々が作ろうとしている事業計画 (研修会の案内) の作成に関しては村上さんのほうが使い勝手が良いです。問題は広臨技として個人経営の業者と契約してもよいのか？という点です。

(意見)

・村上さんが病気等で仕事が出来なくなった場合、保守・管理等どうなるのか？

→友人がいるのでその方が引き継ぐ。契約書に盛り込む等の対策が必要。

・個人経営者との契約については、定款による文言もなく、大学病院の診療部がここと契約している実例があるため問題ないと思われる。

どちらも一長一短あるが、ここでは個人経営の業者も選択肢として可能か否かを問いたい。可能であれば決定についてはウェブサイト委員会に委ねたいと思うが如何でしょうか？

→ 個人経営業者との契約は可能ということで承認

- 情報システム委員の任期について (三舛事務局長)  
情報システム委員会の細則では1期2年で3期までとなっている。現時点で全委員が退任となってしまう。出来れば任期をはずす方向で考えたいがどこかでブレーキはかけないといけない。また他の委員会と異なり、委員長が委員の互選で決まっているのも如何なものかと思う。

(提案)

任期に関して細則

第6条 委員の任期は2年とする。2 委員は再任されることができる。ただし、再任は通算3期までとする。→ [2を変更] 2 委員は再任されることができる。ただし、再任は通算3期までとする。ただし、理事会が認めたものはこの限りではない。延長する者は常務理事会で選出し理事会で承認する。の一文を加える。

委員長の任命について細則

(選任及び解任) 第7条 委員長及び副委員長は、委員の互選をもって選出する。2 委員は、理事

会において役員を除く正会員の中から選出し、会長が委嘱する。 4 委員は、次の号のいずれかに該当する場合、理事会において全理事の3分の2以上の議決により解任することができる。(1) 心身の障害のために職務の執行に堪えないと認められたとき (2) 職務上の義務違反その他委員としてふさわしくない行為があるとみとめられたとき → [変更] (解任) 第7条 委員は、次の号のいずれかに該当する場合、理事会の承認により解任することができる。(1) 心身の障害のために職務の執行に堪えないと認められたとき (2) 職務上の義務違反その他委員としてふさわしくない行為があるとみとめられたとき

(構成) 第4条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 情報システム委員会担当理事 1名
- (4) 委員 若干名

[変更 以下の文章を追加]

2 委員長は、会長が指名し、理事会で承認した後、会長が委嘱する。

3 副委員長は、委員の中から委員長が指名する。

4 委員は、正会員の中から理事会で選任し、会長が委嘱する。

以上のように他の委員会と同様の任命方式とする。

→ 承認

● 収支決算報告について (浅野経理部長)

資料に基に経理部長が広臨技の収支の詳細な説明がなされた。

→ 承認

● 事務所維持特定預金について (会長)

現在、事務所維持特定預金の残高は9,237,308円で今年度100万円積み立てて合計

1,000万円を超えるので、事務所の引っ越しの費用に関しては問題ないと思います。

事務所移転費用として1,000万円を目標としていたので来年度からは積立しなくてもよいと思います。

● 会計監査報告 (柘本監査)

4月10日(火)に会計監査を行いました。決算処理の閲覧等について検討させていただきました。その結果適正に処理されていると判断しました。今後のため何点か指摘事項を挙げさせていただきました。

\* 県学会での決算で飲み物、お菓子で一部領収書のないものがあった。

\* コンビニ等の宛名のない領収書があったので買われた方もしくは責任者の印があれば

ば良いと思った。

\* 担当部局長の欄に印が無いものがあり印漏れか否かはっきりしない為、印が不要で

あれば何か目印のようなものがあれば分かりやすいのではと思った。

\* JR利用等領収書の無いものに関しては、領収書無しの記載があればよいのでは思

った。

\* 記載日欄に日付が記入されていないものが一部あった。

● 結核予防推進委員会について (桑原理事)

3月22日に広島県結核予防推進会議に出席しました。広島県では新規結核患者数は減少傾向ですが、高齢者と外国人労働者の割合が増加している現状があります。これらに対する啓発及び支援体制を強化していく必要があります。潜在性結核に対するDOTSの実施率も低下しているため、保健所を拠点とした地域連携の強化やDOTSの実施期間の拡大を行い、患者支援が実施できる体制を更に推進していくという内容でした。

以上

# 第 37 回臨床検査精度管理向上研修会 第 20 回検査部長・技師長連絡会議 報告



平成 30 年 3 月 18 日（日）広島県医師会館ホールにて第 20 回検査部長・技師長連絡会議ならびに第 37 回臨床検査精度管理向上研修会が開催されました。向上研修会に先立って開催された連絡会議では「広島県共有臨床基準（範囲）の導入経過について」（広島工業大学生命学部生体医工学科：新田和雄教授）、「臨床医の立場から」（広島市立広島市民病院：三好夏季医師）と広島県内病院の精度管理運用現状と臨床医からみた精度管理を用いた検査値の判読についての発表で大変興味深い内容でした。広島県共有臨床基準（範囲）の導入経過は 7 施設（広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院、広島市医師会臨床検査センター、福山臨床検査センター、（株）SRL）において福岡県 5 病院会の基準値を採用し、広島県全体の共有化の検討について調査していました。広島県内の基準範囲の共有化は可能と発表がありました。臨床医の立場からは JCCLS 共有基準値を導入することで、どの病院でも同じ検査基準を設けることができ、臨床医の判断精度向上の重要な役割を担うことになると発表がありました。実際の臨床医の声を聞き、精度管理の重要さが充分伝わってくる内容でした。

臨床検査精度管理向上研修会では、広島県医師会会長の平松恵一先生より開会の挨拶があり、成績優秀施設への表彰、精度管理調査結果の評価・解説がありました。評価・解説で主な事項は、血液検査では今年度、単位間違いによると考えられる誤記入が

広島市立安佐市民病院 秋山 翼

11 件と医療の信頼の失墜に繋がりがねないことを十分理解し、日常検査と同等に十分注意して報告するように注意喚起があった。輸血検査では試料 6 のウラ検査が相対的に弱い施設が多数報告された。それらの原因を調査するための追加アンケートでは、試料 6 のウラ検査では陰性と報告した施設すべてが試験管法であり、使用器具類の詳細より血漿使用量や判定用遠心機の影響があると推測された。前回反応増強剤としてアルブミンを用いる施設が多かったが、現在ではアルブミンの使用率は減少し、LISS や PEG への移行が進んでいると報告があった。一般検査では対象外問題ではあるが胸水中の細胞鑑別の正解率は低く 44.1%であった。穿刺液中の細胞分類は臨床的意義の高い検査であり、今後も研修会などを開き知識を深め日常業務に活かしていきたいと締めくくられた。詳しい報告資料は日臨技ホームページの JAMTQC に掲載されています。

引き続き行われた特別講演では、広島大学病院輸血部 藤井輝久先生に「輸血検査について～医師がどのように検査を見ているか～」と 三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部 田中由美技師に「三重臨床検査精度管理調査の輸血部門における新たな出題方法の試み」と題して講演がありました。藤井輝久先生には今の医学生の輸血検査に関する講義回数や時間を分かりやすくグラフに示していただき、その講義の少なさを初めて知り驚きました。また現場の医師の輸血に対する考えを聞き、医師と検査室とのコミュニケーションを充分に取ることの重要性を学びました。田中由美技師には三重県で行われている輸血精度管理に田中技師が主体となり不規則抗体の特異性のある抗体推定について精度管理調査対象外として設問用の抗原表を作成し、各施設に回答をしてもらい、県の輸血検査全体のスキルアップにつながる取り組みについての活動報告を聞きました。精度管理後はフォローアップとして評価項目の C もしくは D 評価のある施設について三重県精度管理調査の実務委員がアドバイスや相談に応じる機会を設けるなど県内団結した取り組みをご紹介いただき講演を終了しました。

広報部連絡・専用E-Mail <koho@hiroringi.or.jp >

速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。  
モバイル端末からのメール送信も可能です。

(次号速報の原稿〆切りは 5 月 9 日です)







# 薬剤耐性菌に関するアンケート調査のお願い

この度、広島県臨床検査技師会 臨床微生物部門におきまして、「薬剤耐性菌に関するアンケート調査」を企画いたしました。つきましては、アンケートの趣旨にご賛同の上、多くの会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. アンケートの趣旨

2016年 国は AMR（薬剤耐性）対策アクションプランを策定されました。このアクションプランでは薬剤耐性の【動向調査・監視】が重要な戦略目標として挙げられています。今回のアンケート調査は、技師会会員が在籍する県内の医療施設並びに検査センターに対して実施し、県内での薬剤耐性菌検出状況並びに耐性菌検査実施状況について把握することを目的とします。

## 2. 対象

広島県臨床検査技師会会員所属の各ご施設

## 3. アンケートの目的

県内での薬剤耐性菌検出状況（2014年～2016年）並びに耐性菌の検査実施状況について

## 4. アンケート実施方法と回答期限

各施設へ郵送いたしました（3月下旬に発送済み）アンケート調査票をご記入の上、返信用封筒にてご投函ください。なお、検査センターにつきましては集計方法が一部異なります。ご協力いただける検査センターは、お手数ですが、下記の間合せ先へメールにてご連絡をお願いいたします。

回答期限：**5月15日（火）必着**

間合せ先：庄原赤十字病院 検査技術課 辻 隆弘

電話：0824-72-3111（内線 7578）・メールアドレス：[saikin@shobara.jrc.or.jp](mailto:saikin@shobara.jrc.or.jp)

※ 間合せはできる限りメールでお願いいたします。